

米国デュポール（DePaul）大学学生による湯崎知事表敬訪問について

米国デュポール（DePaul）大学の実施する訪日研修の一環として、当大学の学生が湯崎知事を表敬訪問します。

当研修は、2005年から実施され、日本の観光名所や被爆地である広島・長崎を訪問し、日本の文化や、原爆投下に対する宗教的・哲学的意見について検証、議論し、多様な意見の理解を促進するためのものです。 ※コロナのため2019年～2023年までは中止し、本年度より再開。

表敬訪問では、実際に広島を訪問して学生が感じたことや、広島県が核兵器のない平和な世界に向けて取り組んでいることなどについて意見交換が実施される予定です。

実施概要

- 日時 令和6年12月10日（火） 15:20～15:50
- 場所 広島県庁舎北館2階 第1会議室
- 表敬者
 - ◆宮本 ゆき氏 教養・社会科学部 宗教学科 教授
DePaul Humanities Center（人文学センター）センター長
 - ◆近松 暢子氏 教養・社会科学部 外国語学科 准教授
日本研究プログラム ディレクター
全米日本語教師会次期会長
 - ◆同大学学生 22名
- 次第
 - ◆湯崎知事から歓迎の言葉
 - ◆訪問団代表挨拶
 - ◆歓談
 - ◆記念品贈呈・記念写真撮影
- 使用言語 英語（通訳なし）
※表敬訪問は通訳をつけずに全て英語で実施されます。取材の際に通訳が必要な場合は各自でご手配いただきますようお願いいたします。
- 来広日程
 - 12/6（金） 広島平和文化センター訪問、平和記念公園、資料館視察
 - 12/7（土） 被爆者との交流
 - 12/8（日） 縮景園、広島城、宮島視察
 - 12/9（月） 放射線影響研究所（RERF）三滝寺視察
 - 12/10（火） 湯崎知事への表敬訪問
 - 12/11（水） 松井市長への表敬訪問